

時間割コード	G3D21112	開講年度	2026				
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ（上級）					担当教員	近藤 富英
英文授業名	Academic English PhaseⅢ						
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・5時限	対象学生	MⅡ（医）（1）
講義室	共通教育 3 4 講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、主にAcademic Writing、Academic Reading及びAcademic Speakingの演習を行う。 ・ Academic Writing: エッセイライティング用の教材を用いて演習を行い、3～5パラグラフからなる論理的かつ説得力のある英語論文をつくる。 ・ Academic Reading: 専門的な英語文献を読解することで、専門課程の学術探究で必要とされる読解力を磨く。 ・ Academic Speaking: アカデミックレベルのプレゼンテーションの実践を通じて、英語のコミュニケーションスキルとプレゼンテーションスキルを磨く。						
(5)授業のキーワード	Essay Presentation Academic Writing Academic Reading Academic Speaking						
(6)授業計画	第1回 ガイダンス、英語学習と異文化理解 第2回 専門的な英文の講読と発表（1）、Traffic Signals in Speech（1） 第3回 専門的な英文の講読と発表（2）、Traffic Signals in Speech（2） 第4回 専門的な英文の講読と発表（3）、Traffic Signals in Speech（3） 第5回 専門的な英文の講読と発表（4）、アメリカドラマ分析（1） 第6回 専門的な英文の講読と発表（5）、アメリカドラマ分析（2） 第7回 専門的な英文の講読と発表（6）、アメリカドラマ分析（3） 第8回 専門的な英文の講読と発表（7）、Starting and Stopping（1） 第9回 復習、課題レポートについて 第10回 専門的な英文の講読と発表（8）Starting and Stopping（2） 第11回 専門的な英文の講読と発表（9）Starting and Stopping（3） 第12回 専門的な英文の講読と発表（10）アメリカドラマ分析（4） 第13回 専門的な英文の講読と発表（11）アメリカドラマ分析（5） 第14回 専門的な英文の講読と発表（12）アメリカドラマ分析（6） 第15回 専門的な英文の講読と発表（13）、授業アンケート 第16回 期末テスト						
(7)成績評価の方法	・ 授業期間中の習熟度を測る課題（50%） ・ 中間テストや小テストなど（25%） ・ 期末テスト（25%） この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数に満たない場合は、成績評価の対象外とし、評点は0点となります。						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・ この授業は2単位のため、60時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・ 予習と学習した内容の復習を必ず行うこと。						
(10)履修上の注意	必要に応じて eALPS で連絡したり、資料や情報のアップを行うので、その際は確認すること。音声に慣れる練習も行うので、積極的に参加すること。「授業計画」の内容と進度は必要に応じて微調整することがあります。						
(11)質問、相談への対応	授業後、あるいはメールで対応します。メールアドレスは以下の通り。 tokondo@shinshu-u.ac.jp なお、メールで事前に予約すれば面談も可能です。						

(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	資料を配布します。
【参考書】	指定しない。